

# 津久戸

令和3年11月2日

11月号 新宿区立津久戸小学校

## 全力で取り組む姿

校長 牧田 健一

先月は、お忙しい中運動会に大勢の保護者の皆様にご来校いただきありがとうございました。学年ごとの入れ替え制という通常とは違う形での実施となりましたが、全力で運動に取り組む児童に、皆様からの大きな励ましと拍手をいただいたおかげで、児童に自信をつけさせることにつながったのではないかと思います。重ね重ねお礼を申し上げます。

今回の運動会で、私が重視したのは、児童が主体的に、全力で（個）協力して（集団）競い合うこと、児童全員で参加し津久戸小学校の一員としてまとまることの2点でした。各学年で、かけっこ・短距離走、集団競技を行いました。体育の授業で集団競技の練習をするわけですが、チームの勝利のために作戦を考え、練習し、課題が見えると作戦を変更し、再度練習するという姿がみられました。体育の授業が練習試合ならば、運動会は大会本番のような雰囲気でした。練習を積み重ねてきたことが、より一層、一人ひとりが全力で運動することにつながったのだらうと思いました。大人であれ、子どもであれ、全力で取り組む姿は美しく、感動を与えるということを私自身が改めて感じる事ができた1日となりました。児童にとっても主体的に参加し、全力で取り組み、協力してチームの力を伸ばしていくことの楽しさを感じることができた1日ではなかったと思います。

最後に、今年度の運動会を通して、運動会の運営や内容自体を考えていく必要性も感じました。安全面（けが、熱中症、感染防止など）や時期等を考慮した種目の再考、体育の学習を中心とした子どもたちが主体的にかかわり合いながらお互いに考え、競い合う運動会の在り方です。感染状況は現在落ち着いているところですが、今後とも保護者の皆様にご理解をいただきながら教育を進めていきたいと思ひます。

## 運動会を終えて

体育主任

1・2年生は初めての運動会となり、3年生以上は、2年ぶりの運動会となりました。運動会当日は「火花を散らせTSUKUDO2021」のスローガンのもと、子どもたちは一人ひとりが力いっぱい走り、心と力を合わせて競技を行い、互いの健闘を讃え合いました。今までの運動会とは違い、子どもたちはオンラインで観戦したり、種目数に変更があったりしましたが、練習の時から作戦を熱心に考える姿が見られました。本番では、その成果を出すことができたと思います。特に、高学年は、種目以外に係活動など活躍する場がたくさんありました。この運動会をしっかりと支え、盛り上げて頑張った5・6年生に大きな拍手を送りたいです。

皆様に見守られ、温かいご声援をいただきながら、子どもたちが練習の成果を精一杯出し切ることができうれしく思っています。運動会後にご提出していただいたアンケートからも、久しぶりに学校で子どもたちのがんばりを見られてよかったというご意見を多数いただきました。今後も子どもたちが輝ける運動会として教職員一同支えていきます。

運動会が終わり、10月後半からは朝元気が始まっています。引き続き体を動かすことの楽しさを身に付けてほしいです。

## ふれあい月間・「いじめ」について

生活指導主任

「ふれあい月間」は、学校がいじめ等の問題行動の状況について総点検を行い、その未然防止や早期発見、早期対応につながる具体的な取り組みを行うことを目的としています。「いじめ」の定義は法で規定されています。

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

「いじめ防止対策推進法第2条」 令和元年5月24日最終改正

行為をうけた児童が心身の苦痛を感じている場合、また、心身の苦痛を感じなくても、加害の行為が人権意識を欠く言動である場合には「いじめ」として認知します。「いじめ」はどの学校どの学級、どの子どもにも起こり得るとの認識にたち、いじめの早期発見に努め、「いじめ」は許さないという強い意識をもって、学校全体で組織的に取り組んでいます。ふれあい月間でなくても、日常にご家庭からの相談に対応しています。お子さんを中心に、学校と保護者が共通の視座のもとで協力して取り組んでいくことは子どもの健全育成にとって大切なことです。今後ご理解・ご協力お願いいたします。

## 算数少人数指導について

### 算数少人数

算数少人数指導は3年生から6年生を対象に実施しています。事前の確認テストや本人の希望をとり、チャレンジ、アタック、マスターという3つのコースに分かれます。各クラスとも学習する内容は同じですが、理解するための時間を多くとったり、およそ理解したところでいろいろな問題で練習する時間を多くとったり、基礎・基本を徹底的に身に付けるための復習を含めた内容を扱うなど、算数少人数担当と学級担任が協力し指導を工夫しています。

少人数のよさは、思考の多様性や習熟度に応じたきめ細やかな指導ができることです。苦手をそのままにせず、算数を楽しく学習できるよう、また、生活の中で使う算数の内容を結び付けられるように気を付けていきます。

どの教科学習でもそうですが、普段の生活場面で学習したことを生かしていると実感できると、より学習への意欲も高まります。ぜひ、ご家庭でも話題にしていただけるとありがたいです。



#### 11月の生活目標

##### 『きまりよい生活をしよう』

- ・校帽や名札をきちんとつけよう
- ・外で元気に遊ぼう
- ・力を合わせて行事を成功させよう
- ・決められたことを守ろう

登下校時に校帽をかぶることは、津久戸小学校の児童であることを地域の方々に知らせ、子どもたちを見守っていただくことにもつながっています。また、通学路で何かあった時に、校帽をかぶった高学年の児童が助けになることもあると思います。全校児童の安全を守るために家を出る前に「校帽はかぶった？」と一声掛けていただけると助かります。

(生活指導部)

#### 【お願い】

- 同居するきょうだい又は親族に風邪症状がみられた場合、PCR検査を受ける前であってもお子様の登校は控えてくださるようご協力願います。
- 新型コロナウイルス感染症の影響等により、お子様のことで不安等がありましたら、担任又は管理職にご相談ください。

